

一斉学習 同時進行型

実践タイトル 英語教材を電子黒板で活用する

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・電子黒板の操作性を駆使して、リズムカルな授業を組み立てる。

英語ノートデジタル版
英語活動補助教材

・英語教材や英語ノートデジタル版のコンテンツを提示し、児童の興味・関心を高める。

参考にしてほしいポイント

- ・英語ノートデジタル版のゲームやソングなどのコンテンツでは、身体全体を使って体現していた。身体を使うことで、言語活動もリズムカルになり、コミュニケーションが取りやすくなるという効果が見られた。ICT機器を授業で使う際に、ロスタイムが生じると、教師のみならず、児童のモチベーションも下がってしまう。そこで、ICT機器を使用するには、ロスタイムなく、次々とコンテンツを展開するなどの計画が必要である。そうすることで、「楽しい」「誰にでもわかる」体験活動が可能になる。
- ・予め電子黒板用PCに英語ノートデジタル版をインストールしておけば、いつでもワンクリックで始めることができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・前時の振り返りをしよう。 カードの名前を言おう。 ・ジャンケンゲーム ・Sing song time ・果物の名前を言おう	・英語活動補助教材 ・フラッシュ教材 ・カード教材(果物カード)
展開 10 40	・「これは、なんだ?」「これは、~です。」の言い方を覚えよう。 What is this? This is an apple. ・英語ノートデジタル版でセリフを聞いて応えてみよう。 ・ペアになってQ&Aをしよう。 ・2個以上あったら、言い方が違うことに気をつけよう(複数形)。	・英語ノートデジタル版 ・プレゼンテーションソフトウェア(フラッシュ教材自作)
まとめ 40 45	・ペアになり、あいさつから、今日勉強したことまでを会話してみよう。	



写真1: 電子黒板なら児童が直接書き込むこともでき知識共有が可能



写真2: 大きく見せることで、指示したことをクラス全員が共有し、次の協働活動につながる



写真3: 画面を見ながら、いっしょに動作化することで理解が深まり、楽しい活動へとつながる

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・普段は、ALTやJETが来て指導してもらっているが、担任が指導すると、児童も安心するのか、非常にモチベーションも高まった。特に、フラッシュ教材や、英語ノートデジタル版の動画などは児童が楽しそうに見ており、次の活動への意欲付けになった。

活用効果

評価の観点

・コミュニケーションへの関心・意欲・態度

具体的変容

・フラッシュ教材などを見て、活動への意欲付けができた。

実践の手応え

- ・フラッシュ教材や英語ノートデジタル版を使用したことでテンポ良く言語活動を展開し、児童が学習活動に意欲的に取り組むことができた。